

BEGIN Jr.

[ビギンジュニア]

The HERABUNA Fishing Manual for children : By MARUKYU

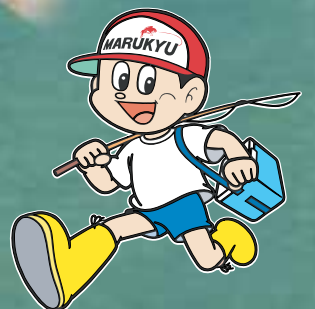
●マルキュー●

小学生用

はじめてのへら鮒釣り
基礎マニュアル



つれるエサづくり一筋
丸 マルキュー



BEGIN Jr.

The HERABUNA Fishing Manual for children: By MARUKYU

[ビギンジュニア]

●マルキュー●
小学生用
はじめてのへら鮎釣り
基礎マニュアル

まずはじめに、^{きほん おほ}基本を覚えよう!

- | | | |
|----|----------------------------------------------|---------|
| 01 | へら ^{ぶなつ} 鮎釣りができる場所 ^{ぼしよ} | 02 ▶ 03 |
| 02 | 準備 ^{じゅんび} する道具 ^{どうぐ} いろいろ | 04 ▶ 05 |
| 03 | へら ^{ぶなつ} 鮎釣りの仕掛 ^{しか} け | 06 ▶ 08 |
| 04 | ウキのエサ ^{おめも} 落ち目 ^き 盛りを決める | 09 |
| 05 | エサの作り ^{つく} 方 ^{かた} | 10 ▶ 11 |
| 06 | エサの付け ^つ 方 ^{かた} | 12 ▶ 13 |
| 07 | へら ^{ぶなつ} 鮎を釣るタナ | 14 |

^{つ かた きほん おほ}釣り方の基本を覚えよう!

- | | | |
|----|-------------------------------------------------------------------|---------|
| 08 | 両 ^{りょう} ダンゴ(ダンゴの共 ^{とも} エサ)の宙 ^{ちゅうつ} 釣り | 16 ▶ 18 |
| 09 | 釣り場でのマナーとルール | 19 |



にほんふるから親しまれているへら鮎釣り。
では、そのへら鮎を釣るにはどうしたらよ
いのでしょうか。

多くの人からへら鮎釣りは難しいと思われ
がちですが、基本を知れば誰でも手軽に、
一年中楽しめる釣りです。

この本では、これから釣りを楽しむために、
必要な道具、仕掛けの作り方、エサの作り方、
そして基本的な釣り方や釣り場でのマナー
など、へら鮎釣りの基本を紹介します。

まずはじめに、
基本を覚えよう！



01 へら鮒釣りができる場所

へら鮒は、私たちの身近にいる魚です。

ここでは、どんな場所にへら鮒がいるのか紹介します。

自然の湖や山上湖、
たとえば精進湖・西湖・山中湖は、
春～秋までの釣り場。
よく釣れるのは夏。

管理釣り場では
定期的に魚を放流して
いるので、いつでも魚が
たくさんいて、1年中釣り
を楽しめます。

自然の湖沼

平野部

街

へら鮒のいる
公園の池では、
とても手軽に釣りを
することができます。

釣り堀でも定期的に
魚の放流をしているので、
1年中釣りを楽しめます。

まずはじめに、基本を覚えよう!

ちよ すい 貯水をするダム湖
たとえば三島湖・豊英湖でも、
さかな ほうりゅう 魚の放流をしています。
はる あき 春～秋によく釣れます。

た すいろ 田んぼの水路など
にいるへら鮒は、
はる 春によく釣れます。

はる さんらん 春の産卵シーズン
の(乗っ込み)には
みずくさ 水草まわりが
ベストポイント。

ほんりゅう 本流

た 田んぼ

02 準備する道具いろいろ

へら鮎釣りの道具にはいろいろなものがあります。釣り堀や野釣りなど、釣る場所によって、使う道具が変わってきます。

ここではへら鮎釣りで必ず使う道具や、仕掛けまわりの小物などを紹介します。



● 竿

へら鮎釣りでは、専用の“へら竿” (2.4m～7.2m) を使います。



枕

● 竿掛け

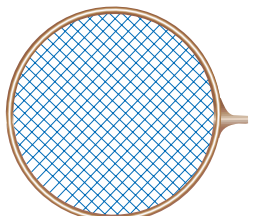
へら鮎釣りでは、エサを投入した後に竿の先を水中に沈めてアタリを待ちます。ウキに余計な動きを出さないために、竿を静かに置いておく道具です。



万力

● 万力・枕

竿掛けを固定して、へら竿を乗せる道具です。



玉網

● 玉網 (タモ)

魚をすくう網です。

● ウキ

魚がエサを食べたときなどに、動いて知らせることができます。



● 道糸

竿先からつける糸です。最初は1号を使いましょう。



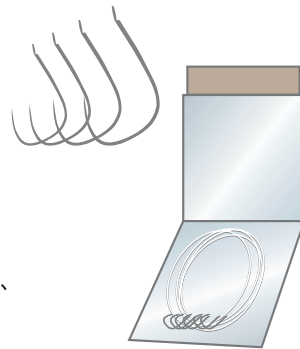
● ハリス

道糸とハリをつなぐ糸です。ハリスの号数は道糸の半分の太さを目安にしましょう。



● ハリ

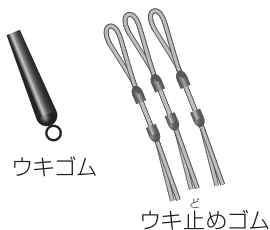
エサを付けて、魚を釣るための、先のまがったハリです。ハリにハリスがセットされた商品もあります。最初のうちは、この糸付きハリを使うとよいでしょう。



糸付きハリ

● ウキゴムとウキ止めゴム

仕掛けにウキを取り付ける道具です。

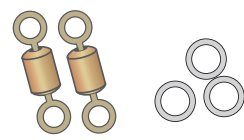


ウキゴム

ウキ止めゴム

● ジョイント (ヨリモドシ、丸カン)

道糸とハリスをつなぐ道具です。



ヨリモドシ

丸カン

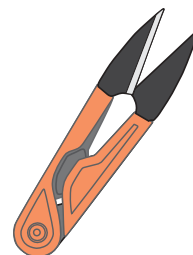
● 板オモリ

ウキのバランスをとるために、道糸に巻く板状のオモリです。厚さが0.2～0.25mmくらいのものが使いやすいでしょう。

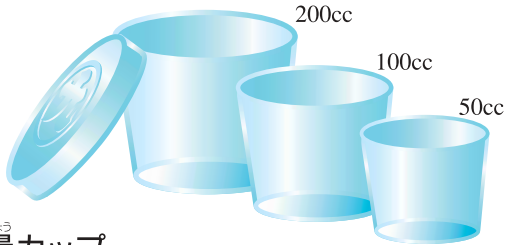


● ハサミ

糸や板オモリを切るときに使います。

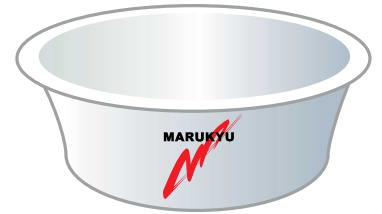


まずはじめに、基本を覚えよう!



● 計量カップ

エサや水の分量を計るために使います。計量カップを使うと、毎回同じエサが作れるので便利です。

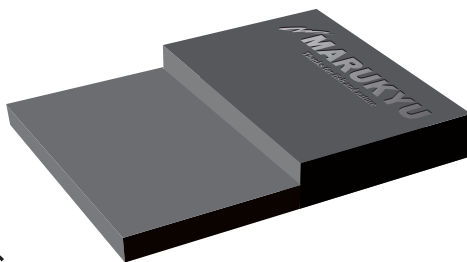


● エサボウル

プラスチック製の洗面器タイプのものがよく使われています。水汲み用とエサ練り用の、2個を用意しましょう。

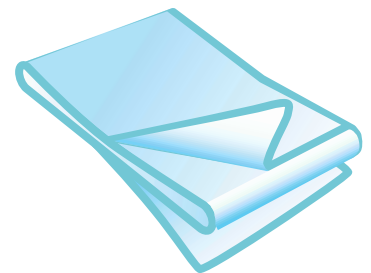
● エサ

へら鮒釣りでは生エサ(ミミズやアカムシなど)は使わないルールです。麩エサやグルテンなどの練りエサを使います。



● 座布団・イス

へら鮒釣りは長時間座りながら釣りをします。座布団や折り畳みイスがあると、楽に釣りをすることができます。また、へら鮒釣り専用の座布団は、二つ折の段差があるものと、段差がないものの、2つのタイプが市販されています。



● タオル

汚れた手を拭くのに使います。また、濡らしてエサボウルにかぶせることで、エサの水分が抜けて手触りが変わってしまうのを防ぎます。

03 へら鮎釣りの仕掛け

へら鮎釣りの仕掛けはできるだけ簡単に、ムダなく作ることが大切です。ゆっくりていねいに作ってみましょう。



1 チチワを作り、道糸を竿の穂先きに結ぶ

8の字結びでチチワを作る

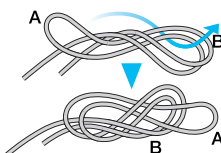
① 結び目をつくる長さで道糸を折り返す。



② Bの輪を1回ひねる。



③ Aを道糸に巻くようにして、Bの輪に通す。

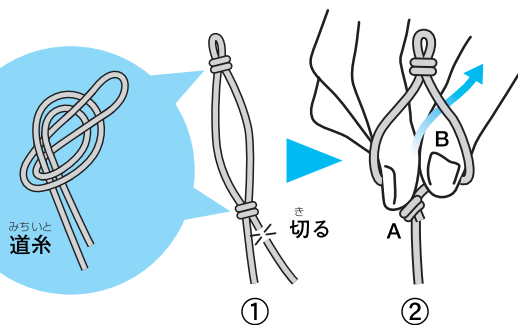


④ Aを引っ張って、余分な糸を切りできあがり。



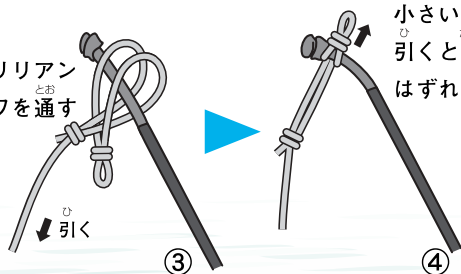
※8の字結びは、片結びより結び目がしっかりしています。

チチワを2コ作り、竿の穂先に結ぶ



③ 穂先のリアンにチチワを通す

④ 小さい輪を引っ張ると簡単にはずれます



① 結び目をつくる長さで道糸を折り返し、上下にチチワを作る。

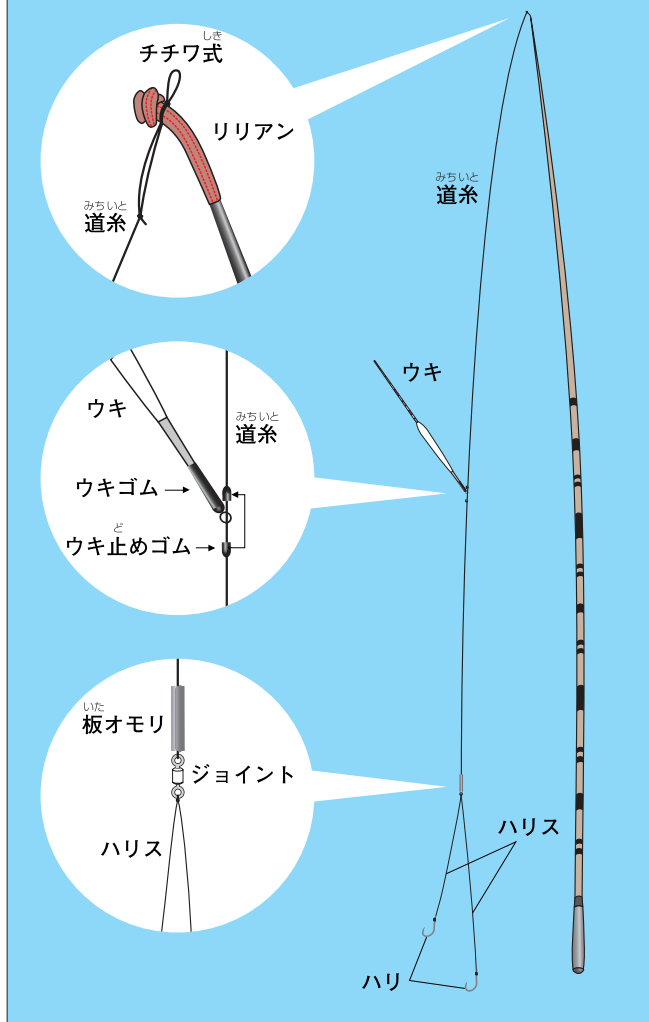
② Aの結び目をBのほうに引いて輪を作る。

③ 竿先のリアンに②のできた輪を通し、糸を引いて輪を絞る。

④ 結び目をリアンのコブに寄せてできあがり。

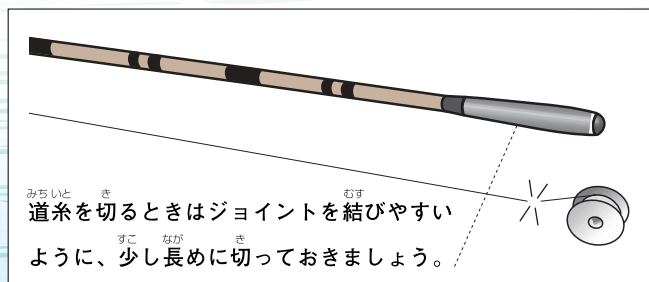
仕掛けをはずすときは、小さい輪を引っ張るとはずれます。

へら鮎釣りの基本的な仕掛け



2 道糸の長さを決める

道糸を穂先に結んだら、竿の握りの中間くらいまで糸を伸ばします。



まずはじめに、基本を覚えよう!



3 ウキ止め、ウキゴムを通す

切った道糸の下から、ウキ止めゴム→ウキゴム→ウキ止めゴムの順番で、糸に通します。

ウキゴムの付け方

ウキゴム ウキ止めゴム

- ① ウキ止めゴムを道糸に通す。
- ② ゴムを道糸に移動する。このときに道糸を濡らしておくと、スムーズに動かして道糸が傷付かない。
- ③ 次にウキゴムを道糸に通す。
- ④ 最後に、もう一つのウキ止めゴムを道糸に通す。
- ⑤ できあがり。



4 道糸にジョイントを結ぶ

道糸とハリスをつなぐ丸カン、もしくはヨリモドシを結びます。丸カンやヨリモドシは、ウキに余分な重さをかけないために、できるだけ小さなものを選びましょう。

チチワでジョイントを固定

ジョイント

丸カン

ヨリモドシ
(スイベル)

- ①
- ②
- ③
- ④

ジョイントにチチワを通す。まみ、Aの輪を通す。できあがり

ステップアップ! クリンチノット結び

- ①

ジョイントに道糸を通すとき、BをAに巻き付けるので、Bは長めの方が巻きやすい。
- ②

BをAに5回ほど巻き付ける。
- ③

Bをジョイントに一番近い輪に通す。
- ④

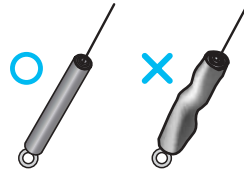
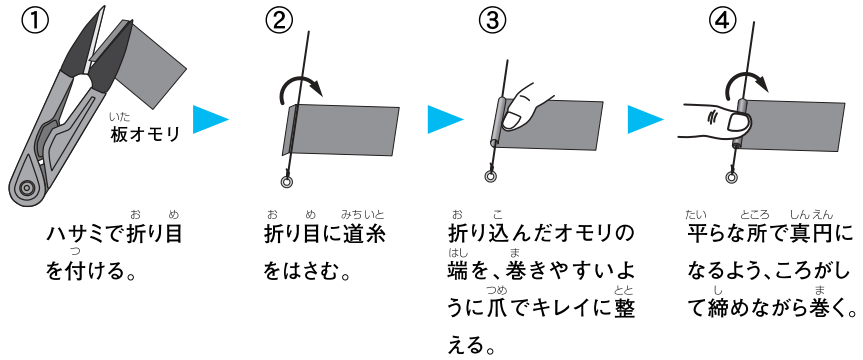
BをAとCの輪に通した後、AとBを引き締める。
- ⑤

Bを結び目から2~3mm離れたところで切って完成。結び目ギリギリで余分な糸を切ると、結び目がほどけやすくなるので注意する。

5 オモリを巻く

ハサミを使って、板オモリの端に折り目を付けます。その折り目に道糸をはさんで、きれいに丸めましょう。板オモリの長さはウキの浮力によっても違いますが、最初に巻く長さは少し多めの1.5cmから2cmくらいが目安になります。また、1カ所にたくさんのオモリを巻かないようにしましょう。オモリが多く必要な場合は2カ所に分けて付けるようにしてください。

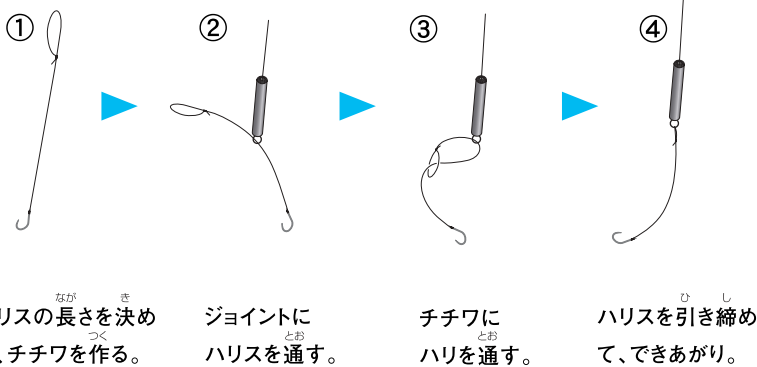
いた 板オモリの巻き方



ざつ 雑に巻いてしまうと、水中で不規則な回転をして仕掛けが絡まったりすることがあるので、オモリはていねいに巻きましょう。

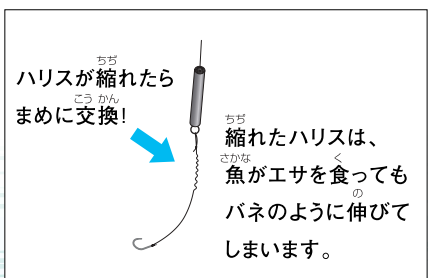
6 ハリスを結び

ちぢワ結び



糸にハリが付いた長さの違う2本のハリスを、ジョイント部分に結びます。

ハリスはたとえ切れなくても、縮れたりするとアタリがウキに伝わりにくくなるので、まめに交換するようにしましょう。



04 ウキのエサ落ち目盛りを決める

仕掛けを水に投入すると、オモリの重さでバランスが取れてウキが立ちます。このとき、ハリにエサが付いていない状態で、水面から出たウキのトップにある目盛りを「エサ落ち目盛り」と呼びます。この目盛りの位置を基準に、エサの重さでウキが沈んでいくところから、へら鮎釣りがスタートします。



エサ落ち目盛りとは

エサ落ち目盛りとは、その名の通り「ハリからエサが落ちている（エサが付いていない）状態」のことです。

エサを付けて仕掛けを投入しウキが立ってから、はじめに決めておいたエサ落ち目盛りより、3目盛り多く沈んだとしましょう。この3目盛り分がエサの重さで、自分が釣ろうとする水深（タナ）まで、エサが溶けずにハリに付いていることがわかります。これを「なじみ幅」と呼びます。このように、エサ落ち目盛りは水中でのエサの状態を知らせてくれる大切な役割をしています。きちんとオモリの重さを調節し、正確にエサ落ち目盛りの位置を確認しておくことが大切です。



エサ落ち目盛りの位置

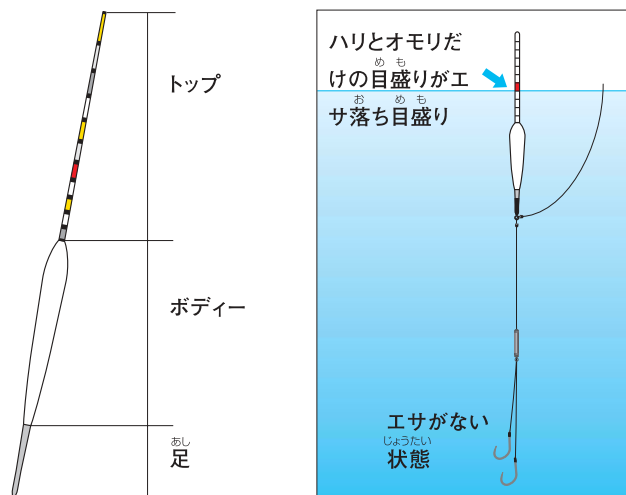
エサ落ち目盛りは、ウキのトップの長さ（目盛りの数）によって位置が変わります。基本的なエサ落ち目盛りは「トップの付け根から3分の1くらい上のところ」です。トップの目盛りの色が変わっている場合が多いので、目安になるでしょう。



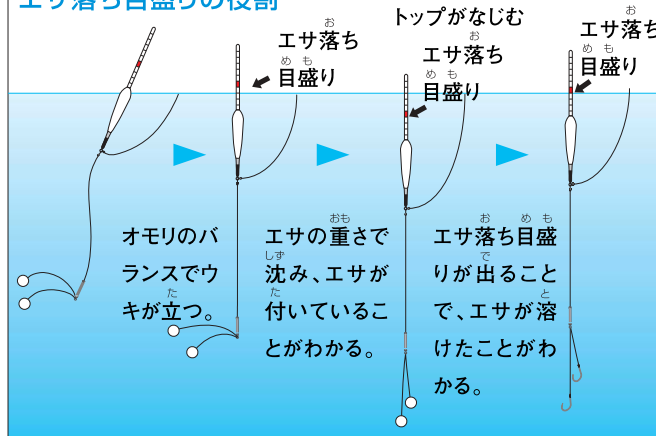
エサ落ち目盛りを出すためには

エサ落ち目盛りを決めるには、道糸に巻いた板オモリをハサミで少しずつ切って調節します。オモリを切る目安として、厚さ0.25mmの板オモリの場合は、約1mmで1目盛りと覚えておくとう便利です。たとえば、水面からあと1～2目盛り出したいときは、ハサミで1mmずつ2回に分けて様子を見ながら切ります。適当に切ってしまうと、一気に目盛りが出てしまうので気をつけましょう。

ウキ各部のなまえ

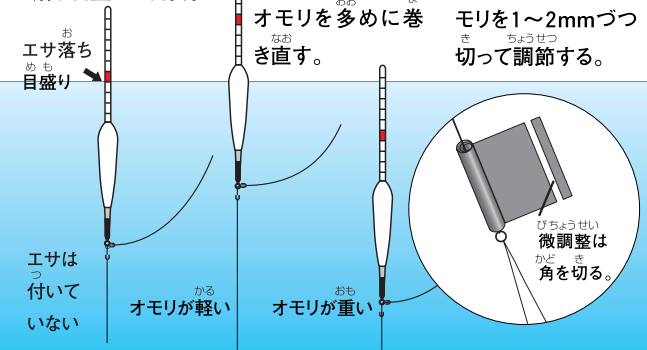


エサ落ち目盛りの役割



オモリ調節の方法

11目盛りのトップでは、付け根から4目盛りがエサ落ち目盛りの目安。



※エサ落ち目盛りを決めるときは、竿先とウキまでの道糸を水に沈めましょう。

05 エサの作り方

へら鮎釣りで使用する、麩エサやグルテンエサは、粉に水を加えて作ります。いつも同じ状態のエサを作るために、計量カップを使いましょう。

ここでは、基本的なエサとその作り方を紹介します。

なお、エサと水の量は製品によって変わりますので、パッケージに書かれている量を参考にしてください。

ダンゴエサ「パウダーベイトヘラ」の作り方



●パウダーベイトヘラ

適度なネバリがあるのでまめやすく、エサ付けが簡単です。エサの練り加減やハリに付ける大きさを変えることで、幅広いタナ（水深）に使用できます。



①「パウダーベイトヘラ」を計量カップですり切り5カップ計り、エサボウルなどの容器に入れます。



②次に水1カップを加えます。



③水を加えたら全体的にムラがないように混ぜます。このとき、手を熊手状に開くと均一に混ぜ合わせることができます。



④これで、第一段階のエサのできあがりです。このエサを基エサのと呼びます。



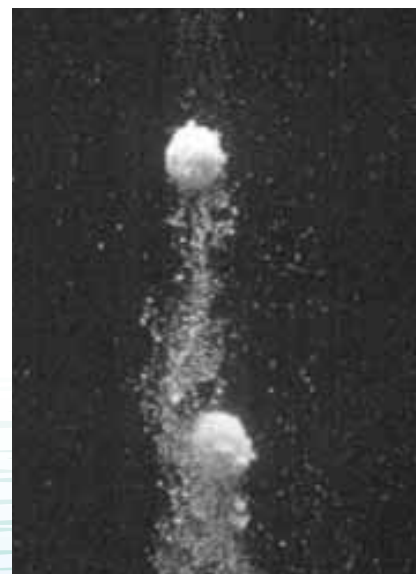
⑤基エサを小分けにして、空気を抜くように手の甲で押します。



⑥使う分量のエサを取ります。



⑦直径15mmくらいの大きさに丸めて、ハリ付けします。



水中ではいっぺんに溶けず、ゆっくりとバラけるのが理想的です。

ワンポイントレッスン!

●**麩エサ**：お麩を細かく砕いたもので、へら鮎釣りで一番よく使われているエサです。お麩のかたさや、粒の大きさで、エサの性能や手ざわりが変わります。

●**グルテンエサ**：ジャガイモをすりつぶして、フレーク状にしたものと、グルテン粉を混ぜて作ったエサのことです。

●**ダンゴエサ**：ひとつのエサで、魚を寄せることと、食わせることの両方の役割を持つエサのことです。

まずはじめに、基本を覚えよう!

グルテンエサ「グルテンα21」の作り方



●グルテンα21

グルテン繊維がからみ合っ
て、ハリのあるフコロにしか
り残ります。エサの重さは
軽いのに確実に持っている
ので、冬の食い渋りに効果
的です。



①グルテンエサを作るときは、まず袋をよく振ってマッシュとグルテンが均等に混ざるようにします。



②50ccの計量カップですり切り1カップ計ります。エサは袋の中で計るようにしましょう。



③計ったエサを小さめのエサボウルなどの容器に入れます。



④水を正確に75cc計ります。



⑤水を加えます。



⑥水を加えたら、すばやくムラにならないようにかき混ぜます。



⑦均等に水がゆきわたったらエサを寄せておきます。



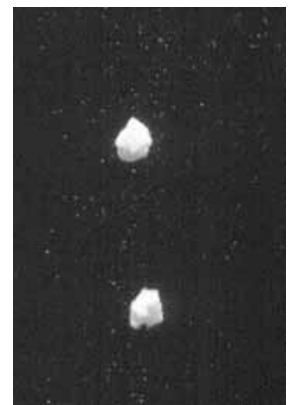
⑧3分ほどそのままにして、できあがりです。



⑨グルテンエサは端からつまむように取って丸めます。



⑩グルテンエサは水中で膨らむので、あまり大きくは付けません。



グルテンエサはグルテン繊維がマッシュをつなぎ止め、バラケエサよりもゆっくり溶けます。最後にふんわりしたグルテン繊維がハリのあるフコロに残ります。



⑪エサをハリに付けた状態です

06 エサの付け方

練りエサは水に溶けるため、ハリ付けの仕方エサの持ちが変わります。どんなに持ちのいいエサを作っても、エサがハリに付いていなければへら鮎は釣れません。ここではエサをハリに付ける方法を覚えましょう。



ハリはいつもエサの中心に

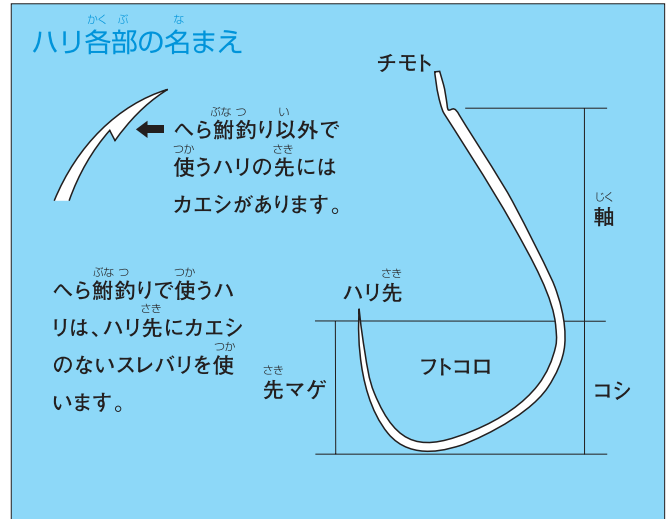
エサをハリに付けるときは、ハリはいつでもエサの中心にくることが大切です。



ハリがエサの中心にある状態。



ハリがエサの中心になると、持ちのよいエサでもすぐに落ちてしまいます。



2つの付け方

エサをハリに付けるには、上から押しこむ方法と、下から引き抜くように通す方法の2通りがあります。

上から押しこむ方法

ハリを上から押しこむとハリのフトコロにエサが食いこまないため、早めにエサが抜け落ちます。釣り始めて魚を寄せたいときは、この付け方がよいでしょう。



①丸めたエサの中心にハリを押しこみます。



②ハリのチモトをおさえて、しっかり押しこみましょう。



③チモトの部分を押さええます。



④形を整えてできあがり。エサはハリより、ひとまわり大きく丸めておくと付けやすいでしょう。

下から引き抜く方法

ハリを下から引き抜くようにすると、エサはハリのフトコロにしっかり抱え込まれて芯残りするようになります。、グルテンエサなどの繊維の入っているエサは、この付け方をします。



①丸めたエサにハリを刺します。



②ハリのチモトがエサの中心にくるようにハリスを引っ張ります。最後にチモトを押さえ、形を整えてできあがりです。

グルテンエサの付け方



- ①グルテンエサはグルテン繊維をハリのフトコロに残すために、下から引き抜く方法で付けます。
- ②ハリを刺したら、ハリスを軽く引っ張りながら、ハリの底の部分でグルテンエサに押しこみます。
- ③チモトを押さえ、形を整えてあげます。
- ④グルテンエサは水中でふくらむので、ダンゴのように大きくエサ付けはしません。ハリが隠れるくらいの大きさにしましょう。

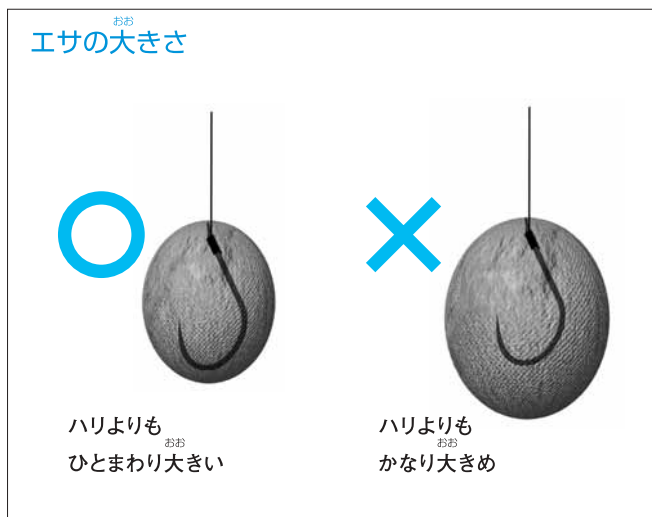


付け方で効果が変わる!

角型: エサを角張らせて付けるため、水の抵抗を受けやすく魚を寄せるのによい付け方です。

丸型: ていねいに丸く付けた『丸型』は、くわせエサ重視タイプ。水の抵抗が少なくゆっくりバラケるので、ハリのフトコロにエサの芯が残る、一番エサ持ちのよい付け方です。

涙型: バラけて芯残りする万能タイプの付け方です。エサの下の丸い部分が先にバラケ、チモトからフトコロにかけてエサの芯が残ります。



● 角型

魚を寄せる効果が
高い付け方

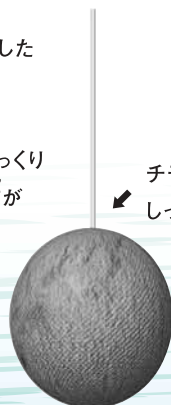


チモトは弱く
押さえる

角があるので
水の抵抗を受けて
バラケやすい

● 丸型

くわさに適した
付け方



まわりからゆっくり
バラけて芯が
残ります

球体は水の抵抗を
受けにくい形状

チモト部分も
しっかり丸める

● 涙型

万能的な付け方

バラけても芯が残り
エサ付けもしやすい



チモトはしっかり
押さえる

エサの下の部分は
形を整える程度でOK

07 へら鮒を釣るタナ

へら鮒釣りは、季節、魚の活性、密度によって泳層(タナ)が変わります。ここではへら鮒を釣るタナについて紹介します。



へら鮒のタナ

へら鮒は、水温や気圧の変化、そして水中の酸素の量によって、泳ぐ層が変わります。この泳層のことをタナといいます。このように、へら鮒はいくつかの条件が満たされているタナを泳いでエサを食べ

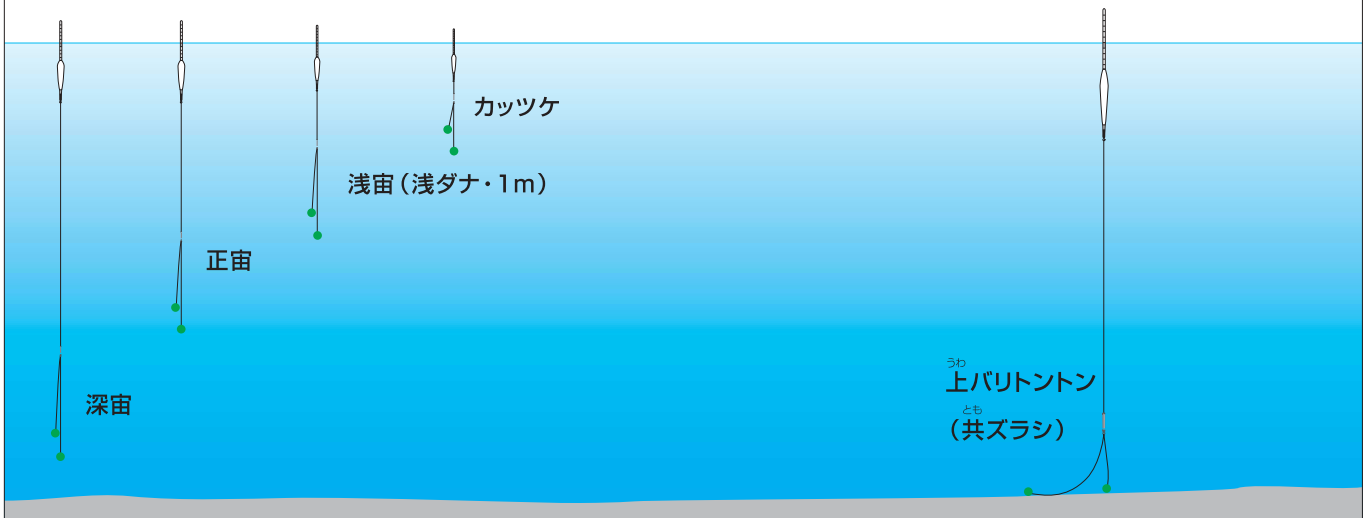
ていて、そのタナは大きく宙と底に分かれます。宙層を釣る宙釣り、水底を釣る底釣りがあり、それぞれ下の図のような名まえがついています。その日の釣りやすいタナを見つけてください。

宙釣り

水中でエサが底に着いていない状態の釣り方を宙釣りといいます。水深の違いによってタナの呼び方は、下の図のように表現されます。また、釣っているタナを「チョーチン」と表現するときもあります。それは竿の長さいっぱい、水深を釣ることを意味しています。

底釣り

底釣りは、その名の通りエサが底に着いている状態のタナのことです。基本は「上バリトントン」といい、2本あるうちの上のハリが水底にちょうど着いていることをさします。



へら鮒釣りの
基本テクニック

へら鮒釣りに必要な基礎
知識がわかったところで、
いよいよ釣り場に出かけて
みましょう。

ここからは、実際にへら
鮒釣りを楽しむために、基
本となる釣り方を紹介して
いきます。



08 両ダンゴ(ダンゴの共エサ)の宙釣り

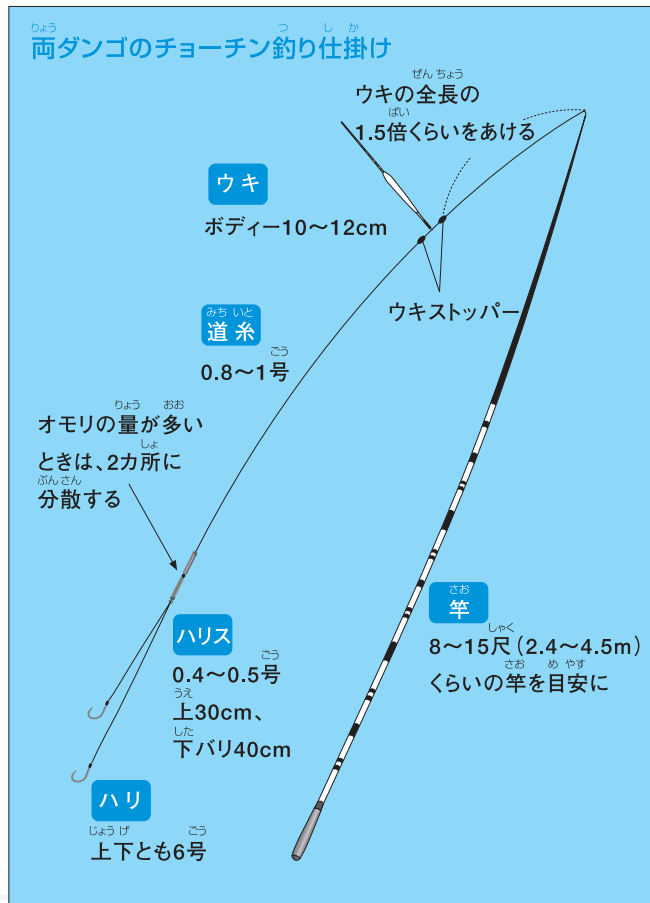
両ダンゴ(ダンゴの共エサ)の宙釣りは、へら鮒がエサをたくさん食べる、活性の
高い時期によく使われる、たいへん人気のある釣り方です。



竿いっぱいのタナ(チョーチン)の宙釣り

竿の長さに関係なく、竿の長さいっぱいのタナを釣るのがチョーチン(深宙)釣りです。つまり、竿の長さが釣りをするタナになります。チョーチン釣りはウキが竿先の近くにあるため、エサの振り込みが簡単です。腕を伸ばして竿先から少し先の位置に静かにエサを着水させ、あとは竿を竿掛けに置けばOKです。

ところで、なぜチョーチン釣りと呼ばれるかというと、竿先の近くにウキがある様子が提灯(ちょうちん)を持っているように見えるので、チョーチン釣りと呼ばれるようになりました。



仕掛けのセッティング

●ウキの位置

竿先からウキの全長の1.5倍くらいのスペースをあけたところに、取り付けましょう。

●ウキの大きさ

使用する竿が8~11尺(2.4~3.3m)なら、ウキはボディ10~11cm。12~15尺(3.6~4.5m)なら11~12cmが目安になります。

竿が長くなるほど釣るタナが深くなるため、エサが沈むのに時間がかかります。そこで、エサをタナまで速く沈めるために、オモリの量を増やします。当然、オモリの重量に耐えるためにウキも大きくなります。

●ハリスとハリ

ハリスの長さは上バリ30cm、下バリ40cm。ハリは6号を目安にしてください。

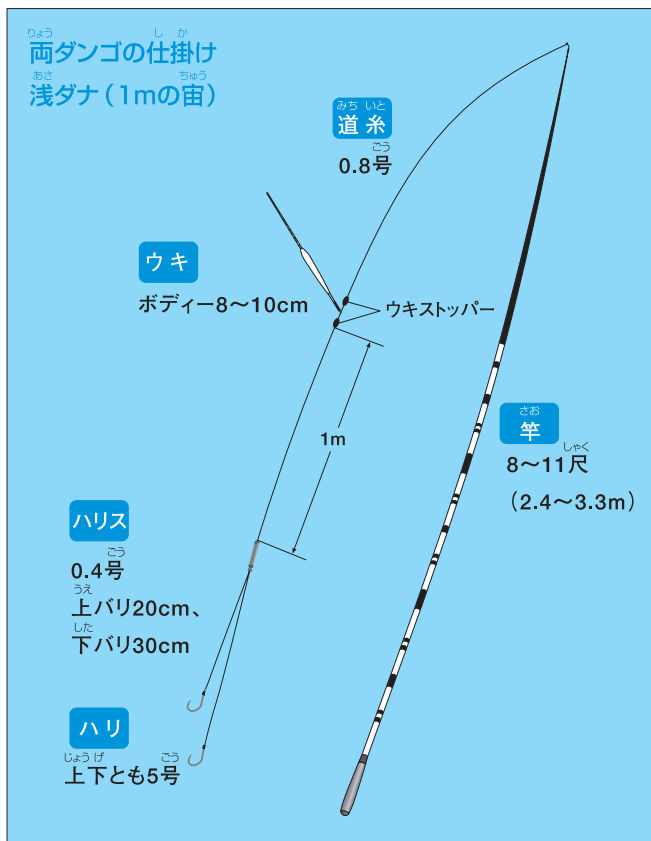
●エサの大きさ

エサは深いタナまで持たせるために、直径2cmくらいのおおきなエサをしっかりと付けましょう。ウキがすぐに上がってきたり、なじみ幅が出ないときはエサがちゃんとタナまで持っていないサインです。その場合は、エサを練ってネバリを出したり、または大きくエサをつけるとよいでしょう。



浅いタナ (1m) の宙釣り

釣り場の決まりごとで、ウキ止めゴムからオモリまでの長さが、1mのタナを釣る釣り方です。これはたくさんの方の管理釣り場が採用しているルールで、1mよりも浅いタナで釣りをしないという決まりです。



仕掛けのセッティング

● 竿

使用する竿は8~11尺(2.4~3.3m)でよいでしょう。とくに魚の活性が高い時期は、へら鮒はエサを求めて釣り人の近くまで寄ってくるので、短い竿で十分楽しめます。ポイントは、ウキが立ったときに道糸が張るように振り込むことです。

● ウキの大きさ

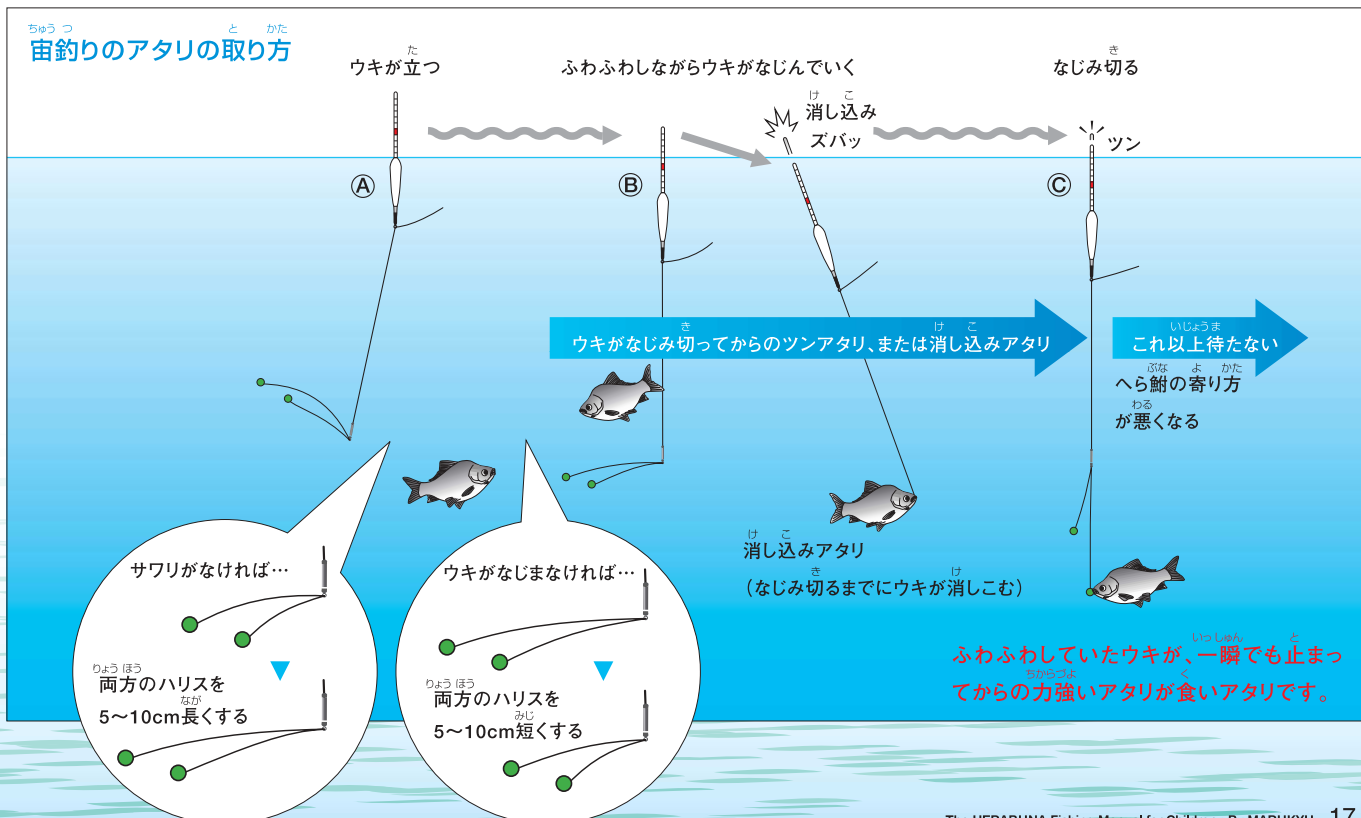
ウキのサイズはボディーが8~10cm。ウキからオモリまでの距離が短いので、比較的オモリ負荷の小さいウキを選びましょう。

● ハリス

まずは上バリ20cm、下バリ30cmからスタートしましょう。このときにふわふわしたウキの動き(サワリ)が出ないときは両方のハリスを5~10cmくらい長くします。これでサワリが出たらハリスの長さはOKです。逆に魚が寄り過ぎてウキがなじまないときは、両方のハリスを短くします。これと同じことがチョーチン釣りにもあてはまります。ハリスの長さが決まったら、へら鮒が食ってくるまでエサを微調節しましょう。

● ハリ

上下とも5号を目安にしましょう。



08 両ダンゴ(ダンゴの共エサ)の宙釣り

仕掛けやタナなどの基本的なことが分かったところで、いよいよエサを作ります。なお、エサの作り方は、テキストのp10～11を参考にしてください。ここでは、エサの手直しの方法を紹介します。



エサの手直しの仕方

エサを投入しても、ウキになじみ幅が出ないときはエサがしっかりタナまで持っていません。この場合、まずエサ付けがしっかりできているか確認してください。それでもなじみ幅が出ないときはエサを練ってネバリをつけ、エサを持たせるようにします。

アタリがあっても、魚がハリに掛からない『カラツン』になってしまうときや、エサをやわらかくしたいときには手水を加えます。

手水をしてやわらかくすると、そのぶんだけ、エサが持たなくなります。ですから、エサを練って持たせるようにしましょう。

エサを練って持ちをよくする



エサボウルのフチにこすりつけるように数回練ります。



もうひとつの方法として、エサを握るように練ります。

手水を打つ



①エサボウルなどに取った水に手をひたします。



②手が十分にぬれている状態、これが手水です。



③使っているエサに手水をなじませます。



④やわらかくなったエサを持たせるために、エサボウルのフチにこすりつけるように数回練ります。

浅ダナで使うとき

●浅ダナ用のエサは、釣り始めは魚を寄せるために角ばらせます。だんだん魚が寄ってきて、ウキにサワリが出はじめたら、直径15mmを目安にていねいにハリ付けします。アタリがあっても釣れないようであれば、手水を打ってエサをやわらかくしてみましよう。

チョーチンで使うとき

●チョーチン釣りのエサは、基本的に浅ダナ釣り用のエサでOKです。浅ダナよりも深いタナまで持つように、直径20mmを目安に大きめにハリ付けしましょう。エサがタナまで持たないようであれば、基エサを練って持ちをよくします。

●へら鮎釣りの記録●

つ い ひ
釣りに行った日:

つ ばしよ
釣りをした場所:

つ まい すう
釣れた枚数:

かんそう おも で
感想・思い出:



つ い ひ
釣りに行った日:

つ ばしよ
釣りをした場所:

つ まい すう
釣れた枚数:

かんそう おも で
感想・思い出:



●へら鮎釣りの記録●

つ い ひ
釣りに行った日:

つ ばしよ
釣りをした場所:

つ まい すう
釣れた枚数:

かんそう おも で
感想・思い出:



つ い ひ
釣りに行った日:

つ ばしよ
釣りをした場所:

つ まい すう
釣れた枚数:

かんそう おも で
感想・思い出:



BEGIN Jr.

[ビギンジュニア]

MARUKYU

 **マルキュー株式会社**
〒363-8509 埼玉県桶川市赤堀2-4

お問い合わせ 本社・桶川工場:048-728-0909 大阪支店:072-824-0909
四国営業所:0877-44-0909 九州営業所:0942-82-0909
ホームページアドレス <http://www.marukyu.com/>

釣り場でエサに困ったら
メール・ホームページ
<http://www.marukyu.com/i>

※製品本体の色は、印刷適性上、実物と若干異なる場合がありますのでご了承ください。
※本書掲載の写真・ロゴマーク・イラストなどの無断複写、ご使用はご遠慮ください。

S0000.05.10